

(公表)令和5年度 児童発達支援ガイドライン事業所評価(自己評価)児童発達支援事業所「ひまわり ひくまの丘」

			はい(人)	いいえ(人)	はい(%)	いいえ(%)	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1	75.0	25.0	机や椅子の配置に気を付けている	親子参加のため密集した状態になりやすいためもう少し余裕のある配置を検討する必要がある。	
	②	職員の配置数は適切であるか	4	0	100.0	0.0			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	0	100.0	0.0	活動によって使用する部屋や場所を変えている		
	④	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0	100.0	0.0		グループや活動内容によって活動場所や環境を調整した。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標と設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	4	0	100.0	0.0	職員間で話し合い、改善をしていっている。		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1	75.0	25.0			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価をおこなうとともに、その結果による支援の質の評価wp及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	100.0	0.0			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	50.0	50.0			
	⑨	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1	75.0	25.0	利用者や職員の困り感などに合わせて内容を検討した。	職員のスキル獲得のために計画的な職員研修のあり方を検討する必要がある。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	0	100.0	0.0			
	⑪	子どもの適応状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	50.0	50.0		標準化されたものは使用していない為、今後検討していく。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	100.0	0.0			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	100.0	0.0			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	100.0	0.0	職員全員で話し合って決めている。		
	⑮	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	4	0	100.0	0.0	利用児の状況や発達に合わせ変更や追加を行っている。		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	4	0	100.0	0.0			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	100.0	0.0	共通理解すべき点は職員間で必ず事前に確認をしている。	職員間で理解の偏りがあった。共通理解できているかの確認が必要。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをしその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	100.0	0.0	お互いに意見を言える雰囲気があり、支援後の共有も十分におこなって次回に活かすようにしている。		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1	75.0	25.0	書面、画像で記録をとっている。		
関係機関や保護者との連携	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	100.0	0.0			
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	100.0	0.0			
	㉒	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援をおこなっているか	4	0	100.0	0.0			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	4	0.0	100.0			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	0	4	0.0	100.0			
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	2	50.0	50.0			
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	0	100.0	0.0	かけはしシートを作成し、引継ぎを行っている。		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	100.0	0.0			
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	4	0.0	100.0			
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	4	0.0	100.0			
	㉚	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	100.0	0.0	子どもの良かった点を毎回伝えたり、月末には書面で頑張った点や課題を確認している。		
保護者への説明責任等	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	3	1	75.0	25.0	グループワーク時に心理士より行っている。		
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	100.0	0.0			
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	0	100.0	0.0			
	㉞	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	100.0	0.0	面談を定期的に行っている。職員全員が利用者にかかわり対応を行った。		
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	50.0	50.0	OB会を開催したり、グループワークの中でフリートークの時間を設けるなど情報共有や交流する機会を作っている		
	㊱	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談の申し出があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	100.0	0.0	いつでも相談にのれることの周知をし、迅速に対応している。		
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	100.0	0.0	掲示板にその月の活動の目的やねらいを掲示し活動の主旨のご理解を得ている。		
	㊳	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	4	0	100.0	0.0			
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	100.0	0.0	口頭だけでなくメモを渡したり視覚的に伝える工夫を行っている。		
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	4	0.0	100.0			
	非常時等の対応	㊶	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	0	100.0	0.0		
		㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	100.0	0.0	定期的に保存食の試食を行った。	
㊸		事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	4	0	100.0	0.0			
㊹		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	4	0	100.0	0.0	毎回保護者に確認し提供している。		
㊺		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	100.0	0.0	ヒヤリハット事例集を作成し集計、分析を行って次回への注意・配慮につなげている。		
㊻		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	100.0	0.0			
㊼		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	0	100.0	0.0			